

From いわて・おおふなと by 松本一樹

目指せ建機オペレーター 20トン重機を操る！

順調に進んでいる農作業ですが、圃場の周りの斜面や周辺の路面等を補強するために、「赤土」を探していました。様々な方面にあたってそれなりに確保する手立はあるのですが、結構手間と経費がかさみ、仕方なく近くの碎石屋さんから路盤材の細かいものと以前手に入れて残っていた赤土を混ぜて凌いでいましたが、それも枯渇していました。

数日前に連れ合いと奥州市内の買い物から帰る途中、以前から気になっていた国道 397 号沿線の建設資材置き場が様変わりしており、赤土も見えていたので、思い切ってその会社を訪ねてみました。

会社は旧江刺市内にあり、貸切バスなども手がけて広く事業を展開していて、事情を話したら「自分で重機を回せるならもっていてもいいよ」との快諾を頂き、日を改めた6月12日（金）、搬出作業を決行しました。

会社に出向いて2トンドンプを借り現場に行きよいよ作業開始。思っていたより重機は大きく20トンクラス、バケットは0.8mで、満杯だと3回でダンプは一杯になります。普段作業

している 3 トン機とは比べ物にならない機械でおまけに様々な最新装備があり、エアコンも完備、アクセルはオートマチックで作業に合わせてパワーをコントロールしてくれます。住友建機・SH200-5 型、グッドデザイン賞も受賞した新鋭機で、会社の人は「大きい方が楽だよ」と言ってくれましたが、少々「ビビリ」ながら、積んである赤土を上の方から削って慎重にダンプに積み込みました。なるほどパワーがあるだけよどみなく機械は回ってくれます。問題はこちらの腕、さすがに以前よりは誤作動もなく掘りすぎとかもないのですが、まだまだ初級者の域を出ないレベルです。

結局この日は 10 時から 17 時 30 分にダンプを返却するまで、現場と我が家の圃場を 3 往復で終了しました。以前近所から土をもらい受けたときは、地元のレンタル屋さんから 3 トン機とダンプを借りて作業し、持ち主に差し上げたお礼を含めると数万円掛かりましたが、今度は燃料代を含めて「諭吉 1 人」で全部賄うことができました。

どんとはれ。



慎重にダンプに積み込む



3回運びました 青い 0.09 m³が普段の建機